

2023 年度 重点教育方針 「チャレンジ」

霊南坂幼稚園は、2023 年度を、コロナ禍を歩む中で制限を迫られ経験の幅が少なかった子どもたちに、より多くの新しいことを体験して、そのことを乗り越えていく経験をしてもらいたいと考えた。そのために「チャレンジ」という重点教育方針を設定した。

その実現のために、(1)1 人ひとりを大切に (2)キリスト教精神を大切に (3)あたたかなクラス活動 (4)主体性の育む自発あそび (5)コミュニケーション力を育てる異年齢活動 というほいく方針を立てた。

保育目標の取り組みと達成状況

1 日々の話し合いの中から生成される保育計画と実践

今年度の子どもたちの状態を適切に把握し、それに基づいて保育計画を作成し実践するために、保育者は準備された話し合いを重ねてきた。

毎月の終わりにそれぞれの活動の報告と課題を報告し合い、翌月の活動案を作成した。

さらに日々の保育の終わりには、短い報告をしながら、保育計画に修正を加えながら歩んできた。

その結果、子どもたちの現状を踏まえた有効な保育実践がなされてきた。

2 研修と研究

学期の終わりには、遊びについて、あるいは課題のある子どもたちの状況について保育者がそれぞれにレポートをし、それに基づいて、「主体性を育てるために望ましい遊びとはなにか」や「この時代の中で、子どもたちや保護者家庭の課題に、保育者はどのように気合い、応答していくか」などの研究をおこなった。

また、キリスト教保育連盟主催の夏期講習会などの研修会、港区私立幼稚園連合会主催の研究会に参加をして、「インクルーシブ保育の実践」「笑顔育の実践」の学びをおこなった。さらに、港区教育委員会の呼びかけによる保幼小連絡協議会に参加し、幼稚園から小学校への円滑な歩みに関する課題を学んだ。

3 日常生活から生まれる行事

大きな行事を「行事のための行事」とするのではなくて、日常生活の中から行事が生まれ、行事の経験が

日常生活を豊かにするように取り組んだ。その結果、遠足、プレイデイ、芋掘り、クリスマスなどの全体行事、また、夏のスペシャルプログラムやキャンドルサービスなどの年長だけのプログラムも、それぞれに子どもたちの成長を確かめる機会となり、それを保護者と分かち合う機会となった。

4 保護者への対応

保護者に対しては、マ・メールという連絡網システムを有効に用いて、事務連絡に関しては、紙ベースではなくてデジタルツールを用いることにした。また、クラス懇談、個人懇談で保育についての理解を共有し、また、個人的な課題については、必要に応じて相談をしてきた。

今年度も保護者のあたたかい支えに励まされる年だった。特に年長児に兄弟の最後のこどもを送って下さった「ベテラン」保護者がいて、その人たちが配慮の行き届いた協力をしてくださったことが大きな力になった。

また、父母の会として久しぶりにバザーに本格的に取り組んだ年になったが、それも保護者同士の良き交わりとなって、保護者間の信頼と交流がふかまった。年間を通して物品の販売も盛んだった。それらのことが幹事会を通して、幼稚園との意思疎通が図られる中で行われたこと感謝したい。

5 教育目標と保育方針について

教育目標「チャレンジ」については、よく取り組み実践ができたと評価している。特に年度末に年長だけのスペシャルプログラムで特別の一日を持ったが、通常この時期に、特別プログラムを入れることは難しいのだが、入園以来コロナによって活動を制限されていた今年度の年長に必要なこととして実施に踏み切った。周到な準備と企画が必要だったが、その楽しい経験が、卒園に向けた大きな力になったことはまちがいない。これに象徴されるようにできるだけ多くの経験をさせたいという実践が行われた一年だった。

保育方針について

(1)ひとりひとりを大切に

教師たちが毎日の話し合いの中で、その日起こった子どもたちの状況をシェアし、それを翌日に反映させてきた。時には、1人の課題のために遊び保育場の工夫をすることもあった。プレイデイでは、年長男児がそれぞれに得意なことを披露し、大きな拍手を受けたことで、その後の生活にメリハリがでていた。それぞれの子どもが「自分らしさ」を大切にされたという経験を重ねた一年だった。

(2)キリスト教精神を大切に

クリスマス礼拝に象徴される。礼拝の時に静かに集中して聴く力があることを示し、讃美歌などの合唱では、大きな声で自信を持って歌っていた。なによりもハプニングがあったとき、子どもたち同士、子どもと教師の信頼関係に基づいて、何事もなかったように過ごせたことは特筆に値する。普段の礼拝でも、子どもたちは集中して、強要されることなく大切な時間を守っている。特に、この年度の子どものたちの賛美は、心を込めて歌うことはもちろんだが、声量や歌う態度など、見事な賛美をきかせてくれた。

(3)あたたかなクラス活動

意欲的に取り組んだ。年長は、時を経るにつれて「自分たちで」できることが増えていった。特に園児同士のトラブルがあったとき、教師ではなく、子どもたち自身で仲直りができるようになるなど、複雑な人間関係に対しても勇気を持って発言し、行動できる力がついてきた。年中は、年度の初めはそれぞれの思いをぶつけ合うような状況であったが、年度の終わりにはクラス全員で心を合わせて何かに向かうことを楽しむようになった。年少は、年少としては珍しいくらいにみんなで落ち着いて遊ぶことができている。製作を楽しめる子が多く、自分の作りたいものを自分で作るという事ができる。霊南坂幼稚園を自分の居場所と認識することができたのは、クラスの中で安定した時間があったからだろうと。

(4)主体性の育む自発あそび

自発あそびも充実して展開をされた一年であった。特に年長の子どもたちは、一つの遊びを始めたときに、それを工夫して、さらに面白い遊びに発展をさせたり、もっと多くのお友だちと一緒に遊べるように展開したりできるようになった。園児たち同士の話し合いの中で工夫が広がって行くので、教師がほとんど関わらなくても、遊びが継続され、展開されるようになった。

(5)コミュニケーション力を育てる異年齢活動

2023年度は、当初から「ペアさん」と呼ぶ少人数の異年齢のグループを設定し、異年齢活動を積極的に行ってきた。その結果もあり(4)の自発あそびの発展は、同年齢の子どもたちにとどまらず、異年齢の子どもを巻き込む遊びへと展開された。その事によって年中、年少の子どもたちは、年長から良い刺激を受け、クラスに戻っても、著しい成長の姿を見せていた。年長の子どもたちも年中、年少の子どもたちとあそぶことで、自分であることの自信を深めている。

以上のように、2023年度も重点教育目標に向かって、充実した保育がなされた。

次年度への課題

上記のように保育については充実した保育が展開され、在園児保護者には高い評価を受けることができた。しかし、喫緊の課題は、園児数の確保である。2023年度はさまざまな工夫をした結果、従来にないほどの見学者があり、見学者のほとんどが保育について好感を表明していた。にもかかわらず、実際の入園手続までに及んだ人数は11名にとどまった。次年度以降、より高いレベルで園児を確保できるよう努力をしたい。

また、保育運営に関してICTを導入し、園児の登降園の正確な把握、ならびに働き方改革のための保育者業務、事務の簡略化を試みたい。

学校評価委員会は2024年3月14日午後2時から、霊南坂教会会議室で行われた。

出席は、松澤純子（地域）、松本純子（学識経験者）、中原純一（学識経験者）、齋丸直子（卒園児保護者）、徳田絵里（在園児保護者）幼稚園から後宮敬爾園長、小林由美恵主任教諭が出席して行われた。

幼稚園から幼稚園自己評価並びに幼稚園保護者アンケート結果を聞いた後、以下のような意見があった。

保育については、掲げた目標に向かって良い実践が行われている。とくにこの数年、取り組んでいる「異年齢活動」は大きな教育的成果をあげている。それは保護者アンケート結果にも現れている。教師間の良いチームワーク、幼稚園と保護者の信頼関係もよい発展をしている。しかし、園児増について、様々な方面の努力を期待したい。

学校評価委員会から提案された次年度以降への取り組みは以下の通りである。

継続的に、「自発遊び」「異年齢活動」を軸にした保育を進めてほしい。

保護者との信頼関係も継続的に発展させてほしい。

園児募集のための方策を研究・実施してほしい。

霊南坂幼稚園2023年度に関する保護者アンケート結果

「とても良い」を4点、「良い」を3点、「どちらともいえない」を2点、「わからなかった」を1点として計算。

		回答数	とても良い	良い	どちらでもない	わからなかった	評価点 4点満点
	2月13日から5日間、Google formを使用。回答率76%						
教育目標保育方針	重点教育目標「チャレンジ」についてご理解いただけましたか。]	25	23	2	0	0	3.92
	一人一人を大切にする保育	25	24	1	0	0	3.96
	キリスト教精神を大切にする保育	25	23	2	0	0	3.92
	あたたかな家庭のようなクラス活動	25	24	1	0	0	3.96
	自発あそびによる自分で考え、行う力の育ち	25	24	1	0	0	3.96
	異年齢活動によるコミュニケーション力の育ち	25	24	1	0	0	3.96
行事について	親子遠足はいかがでしたか	25	22	3	0	0	3.88
	プレイデイはいかがでしたか	25	22	2	1	0	3.84
	クリスマスはいかがでしたか	25	23	2	0	0	3.92
	夏のスペシャルデイはいかがでしたか	13	10	2	1	0	3.69
	キャンドルサービスはいかがでしたか	13	11	1	1	0	3.77
	バザーについてはいかがでしたか	25	16	7	2	0	3.56
	子育て講演会についてはいかがでしたか	24	21	3	0	0	3.88
連絡	園便りはいかがでしたか	25	24	1	0	0	3.96
	マメールでの連絡はいかがでしたか	25	23	2	0	0	3.92
	ホームページはいかがでしたか	25	15	7	3	0	3.48
子ども	幼稚園に行くのを楽しみにしていますか	25	24	0	1	0	3.92
	お子さまの成長を感じましたか	25	25	0	0	0	4.00
	挨拶や手洗いなど、生活習慣が身についていますか	25	22	2	1	0	3.84
	他の子どもを思いやる心が育ちましたか	25	23	2	0	0	3.92
保育者	保育者の保護者への対応は丁寧でしたか	25	24	1	0	0	3.96
	保育者は一人一人の園児を心にかけていましたか	25	24	1	0	0	3.96
	保育者は真摯に相談にのっていましたか	25	23	2	0	0	3.92
幼稚園	充実した保育を展開していましたか	25	24	1	0	0	3.96
	環境を清潔に整えていましたか	25	23	2	0	0	3.92
	安全のための防災訓練を行っていましたか	25	23	2	0	0	3.92
	お子さまが霊南坂幼稚園に入園して満足しておられますか	25	23	2	0	0	3.92